



スポーツ文化社会科学領域

スポーツ医科学領域

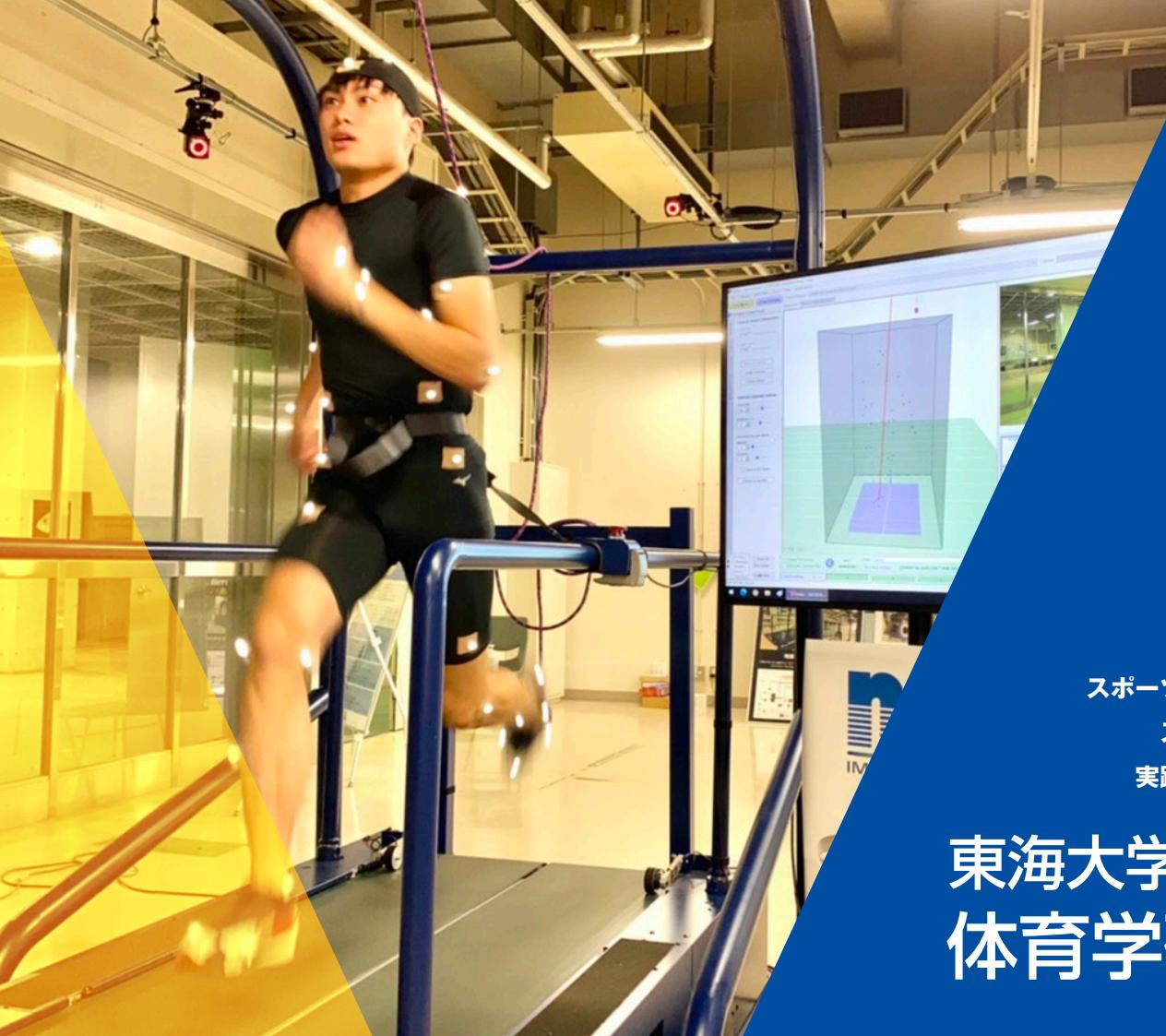
実践スポーツ科学領域

東海大学 大学院 体育学研究科

TOKAI UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF
PHYSICAL EDUCATION

2023

GUIDE BOOK



MESSAGE



体育学研究科長
萩 裕美子

世界を震撼させたコロナ禍は体育・スポーツ界に何をもたらしたでしょうか。また1年遅れの東京オリンピック・パラリンピックは我々に何を残したでしょうか。様々な問題が投げかけられた気がします。

このような背景の中、本体育学研究科は40周年を経て、昨年度より博士課程を設置いたしました。体育・スポーツ科学は人の営みを基本とした研究領域ですが、科学技術の進歩に伴いその領域は様々な分野への広がりを見せてています。当然ながら体育・スポーツそのものを研究する基礎研究は重要ですが、併せて他分野との連携研究も増加してきています。本研究科は幸い総合大学にあり、医学部、工学部、健康学部など共同研究の基盤が整っていることはこれからの体育・スポーツ学研究を推進していく上では大きなメリットと考えております。

また、大学として学生のスポーツ活動に力を入れており、高いレベルの競技者が集まっているとともに、指導者もトップレベルの教員が指導しております。この指導現場と研究を結び付け、より実践的に活用できる研究成果を蓄積しているのも特徴の一つです。研究を研究のために終わらせず、常に社会にどう還元できるかを考えて研究を進めています。

今、スポーツ界では、これからスポーツ界をけん引する指導力と研究力を両方兼ね備えた高いレベルの人材が求められています。また他領域においても体育・スポーツの専門知識を持つ人材が活躍していくことで、体育・スポーツの本来の価値を社会に知らしめ、価値向上に貢献できる人材が期待されています。社会状況がどのように変化しようと、人の営みとしての体育・スポーツの価値は変わりません。本研究科ではその価値を伝える人材の育成を目指しています。是非、その一人となってみませんか。皆様のチャレンジをお待ちしております。



体育学部長
内山 秀一

大学院体育学研究科修士課程は1976年創設されました。2021年、修士課程は博士課程前期となり、博士課程後期が開設され、体育学研究科は新たなステージに入りました。

大学院体育学研究科では、体育・スポーツのあらゆる可能性にチャレンジできます。体育系学部などで身につけた基礎知識をもとに、博士課程前期では体育・スポーツ科学の専門的知識を身につけるとともに、多様性と奥深さを学びましょう。博士課程後期では、より高度な専門知識と技能、独創性と創造性に富んだ研究力を身につけながら、深く体育・スポーツの真髄・真理を探求して欲しいと思います。

世の中の価値観が多様に変化する中にあっても、体育・スポーツの可能性を信じ、その存在意義を深く考察し、体育・スポーツと共に生きる。それが体育学研究科です。

アドミッション・ポリシー

本学の「建学の精神」と、体育学研究科の教育・研究上の目的及び養成する人材像を理解し、自ら学ぶ意欲を持ち、十分な専門分野の基礎学力を有した者を国内外から広く受け入れます。

[博士課程前期]

1. 体育学分野の専門的な情報・知識を得るために必要な英語の語学力
2. 体育学分野の専門的な学修をするために必要な学部レベルの十分な基礎学力

[博士課程後期]

1. 体育・スポーツ科学領域の専門的な学修をするために必要な修士課程レベルの十分な基礎学力
2. 当該分野における極めて高度な知識・技能を有し、独創性・創造性に富んだテーマを持って研究を遂行する意欲
3. 研究により得られた知見や技術、及びその過程で得られた能力を社会へ還元する意欲
4. 体育・スポーツ科学領域の専門分野の情報・知識を得るために必要な英語の語学力

ADMISSION POLICY CURRICULUM

カリキュラムの特長

前期課程

「スポーツ文化社会科学」、「スポーツ医科学」、「実践スポーツ科学」の各領域の概要、人文社会科学系と自然科学系の研究法の基礎を学修する。3つの科目区分において、学部で学んだ「体育・スポーツ科学」をさらに深化させた専門性を養う。

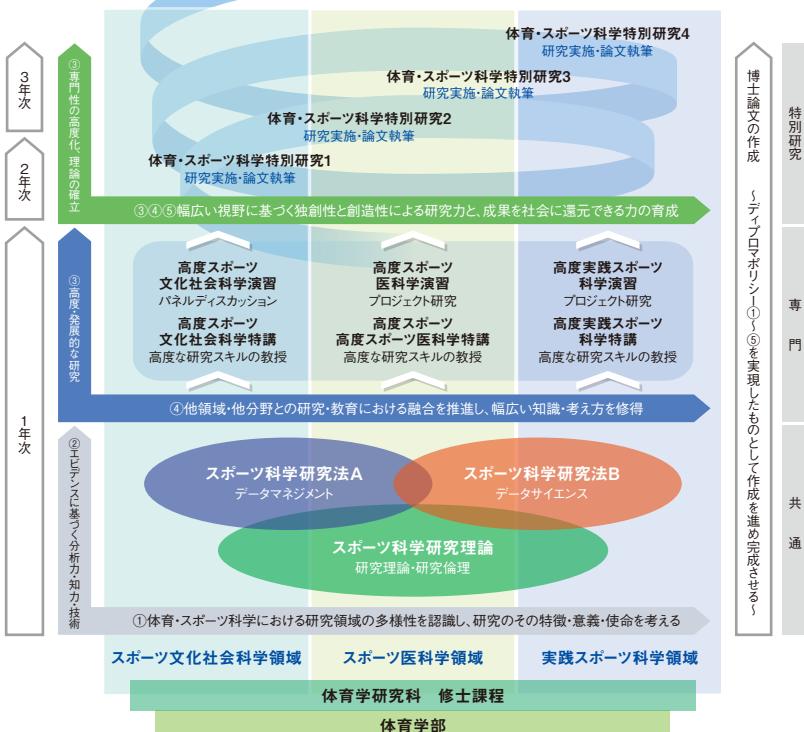
後期課程

修士課程(博士課程前期)の研究内容や高度解析技術を発展させて、体育・スポーツ科学の3領域(スポーツ文化社会科学領域、スポーツ医科学領域、実践スポーツ科学領域)の特講科目の学びを通じて、高度な専門知識と技能、研究スキルを修得し、「特別研究」科目において独創性と創造性に富んだ研究力を身に付ける。

後期課程〈学位取得とカリキュラム〉イメージマップ

ディプロマポリシー

- ①体育・スポーツ科学における研究領域の多様性を認識し、研究の特徴・意義・使命を考えることのできる人材
- ②エビデンスに基づく分析力・知力・技術を有し、自ら研究課題を見つけ、取り組むことができる人材
- ③高度な専門知識と技能を持ち、独創性と創造性に富んだ研究力を身に付けた人材
- ④他領域・他分野との研究・教育における融合を推進し、幅広い知識・考え方を修得している人材
- ⑤研究により得られた知見や技術、そして経験を社会に還元していくことができる人材



東海大学大学院 体育学研究科
(前期課程) 学びのスケジュール

分野・領域	授業科目名	必選別	単位数	分野・領域	授業科目名	必選別	単位数
基礎科目	スポーツ科学総論 A(文化社会科学・医科学)	○	2	実践スポーツ科学	実践スポーツ科学特論A(身体教育)	×	2
	スポーツ科学総論 B(実践スポーツ科学)	○	2		実践スポーツ科学特論B(健康教育)	×	2
研究法	体育・スポーツ科学研究法A	○	2		実践スポーツ科学特論C(コーチング)	×	2
	体育・スポーツ科学研究法B	○	2		実践スポーツ科学特論D(心理サポート)	×	2
スポーツ文化社会科学	スポーツ文化社会科学特論A(哲学)	×	2		実践スポーツ科学特論E(武道)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論B(歴史学)	×	2		実践スポーツ科学特論F(アダプティッド)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論C(社会学)	×	2		実践スポーツ科学特論G(ウエルネス)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論D(心理学)	×	2		実践スポーツ科学特論H(マネジメント)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論E(政策)	×	2		実践スポーツ科学特論I(レジャー)	×	2
	スポーツ文化社会科学演習A	×	2		実践スポーツ科学演習A	×	2
	スポーツ文化社会科学演習B	×	2		実践スポーツ科学演習B	×	2
	スポーツ医科学特論A(生理学)	×	2		実践スポーツ科学演習C	×	2
スポーツ医科学	スポーツ医科学特論B(バイオメカニクス)	×	2		実践スポーツ科学演習D	×	2
	スポーツ医科学特論C(医学)	×	2		体育学研究1	○	2
	スポーツ医科学特論D(体力学)	×	2		体育学研究2	○	2
	スポーツ医科学演習A	×	2		体育学研究3	○	2
	スポーツ医科学演習B	×	2		体育学研究4	○	2

授業科目の紹介

スポーツ文化社会科学領域

スポーツ文化社会科学特論 D(心理学)



人文社会学科学的アプローチによる研究の基礎的な理論と応用について学びます。

スポーツ医科学領域

スポーツ医科学特論 C(医学)



自然科学的アプローチによる研究の基礎的な理論と応用について学びます。

実践スポーツ科学領域

実践スポーツ科学特論 C(コーチング)



スポーツや運動、身体活動が現代社会に貢献する研究の基礎的な理論と応用について学びます。

[後期課程] 学びのスケジュール

修了には下記の要件をすべて満たすこと。

- ①共通から「スポーツ科学研究理論」を含め4単位以上の修得および研究指導を受ける教員が担当する「体育・スポーツ科学特別研究1・2・3・4」を修得すること。
- ②博士課程(前期)の単位(30単位)と併せて合計46単位以上を修得すること。
- ③博士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	授業科目名	必選別	単位数
共通	スポーツ科学研究理論	○	2
	スポーツ科学研究法A	×	2
	スポーツ科学研究法B	×	2
	高度スポーツ文化社会科学特講	×	2
	高度スポーツ医科学特講	×	2
専門	高度実践スポーツ科学特講	×	2
	高度スポーツ文化社会科学演習	×	2
	高度スポーツ医科学演習	×	2
	高度実践スポーツ科学演習	×	2
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究1	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究2	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究3	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究4	○	2

近年の修士論文

- 「スポーツ倫理学の形而上学序説」
- 「高強度ランニング中のランニングエコノミーと下肢動作および筋活動量との関係」
- 「運動前の水素酸素ガス吸入が運動による酸化還元反応に及ぼす影響」
- 「高強度走行中のRunning Economyに優れた大学長距離選手の下肢キネマティクス」
- 「インセンティブプログラム参加者における歩数とWalk Scoreの関連」
- 「熟練度の違いによるサッカーボールリフティングの運動制御について」
- 「捕手の捕球技術に関するバイオメカニクス的研究」

授業科目の紹介

スポーツ文化社会科学領域

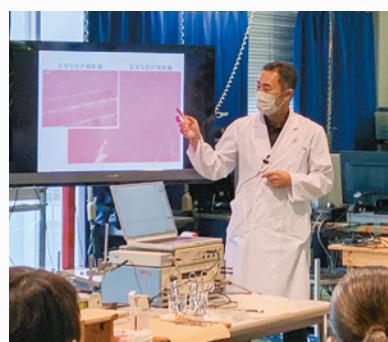
高度スポーツ文化社会科学演習



人文社会学科学的アプローチによって問題解決する研究プロセスを演習として学びます。

スポーツ医科学領域

高度スポーツ医科学演習



自然科学的アプローチの手法によるスポーツ科学実験研究のプロセスを演習として学びます。

実践スポーツ科学領域

高度実践スポーツ科学演習



スポーツが現代社会において貢献しうる研究プロセスを演習として学びます。

大学院担当教員一覧

Ⓜ …博士課程前期 Ⓛ …博士課程後期

研究指導教員 専門分野<研究テーマ>	
阿部 悟郎 ABE GORO 体育哲学	教授 Ⓜ Ⓓ

スポーツ文化社会科学	
阿部 悟郎 ABE GORO 体育哲学	教授 Ⓜ Ⓓ
松浪 稔 MATSUMAMI MINORU スポーツ史、スポーツ人類学	教授 Ⓜ Ⓓ
高尾 将幸 TAKAO MASAYUKI スポーツ社会学	准教授 Ⓜ
松本 秀夫 MATSUMOTO HIDEO スポーツ心理学	教授 Ⓜ Ⓓ
秋吉 遼子 AKIYOSHI RYOKO スポーツ社会学	講師 Ⓜ

スポーツ医科学	
八田 有洋 HATTA ARIIRO 運動生理学	教授 Ⓜ Ⓓ
山田 洋 YAMADA HIROSHI スポーツバイオメカニクス	教授 Ⓜ Ⓓ
宮崎 誠司 MIYAZAKI SEIJI スポーツ医学	教授 Ⓜ Ⓓ
内山 秀一 UCHIYAMA SYUICHI 体力学	教授 Ⓜ Ⓓ

実践スポーツ科学	
中西 英敏 NAKANISHI HIDETOSHI 武道学(柔道)	教授 Ⓜ

上水 研一朗 AGEMIZU KENICHIRO 武道学	教授 Ⓜ
栗山 雅倫 KURIYAMA MASAMICHI コーチング学	教授 Ⓜ
久保田 晃生 KUBOTA AKIO 生涯スポーツ論	教授 Ⓜ Ⓓ

押見 大地 OSHIMI DAICHI スポーツマネジメント	准教授 Ⓜ Ⓓ
萩 裕美子 HAGI YUMIKO スポーツ&レジャー論	教授 Ⓜ Ⓓ
野坂 俊弥 NOSAKA TOSHIYA 健康科学	教授 Ⓜ Ⓓ
松下 宗洋 MATSUSHITA MUNEHIRO 運動疫学	講師 Ⓜ Ⓓ
吉岡 尚美 YOSHIOKA NAOMI アダプティッド・スポーツ科学	教授 Ⓜ Ⓓ

高野 進 TAKANO SUSUMU コーチング学	教授 Ⓜ
大塚 隆 OTSUKA TAKASHI スポーツ運動学	教授 Ⓜ
武田 大輔 TAKEDA DAIASUKE 応用・臨床スポーツ心理学	教授 Ⓜ
岡崎 勝博 OKAZAKI KATSUHIRO 保健体育科教育学	教授 Ⓜ
森 良一 MORI RYOICHI 保健・健康教育学	教授 Ⓜ

内田 匡輔 UCHIDA KYOSUKE アダプティッド・スポーツ科学	教授 Ⓜ
川邊 保孝 KAWABE YASUTAKA 体育・スポーツ経営学	准教授 Ⓜ
谷木 龍男 YAGI TATSUO スポーツ心理学	特任准教授 Ⓜ

小河原 慶太 OGAWARA KEITA スポーツバイオメカニクス	教授 Ⓜ
大越 正大 OKOSHI MASAHIRO 体育科教育学	教授 Ⓜ

研究指導補助教員 専門分野<研究テーマ>	
丹治 史弥 TANJI FUMIYA 運動生理学	特任助教 Ⓜ
山下 泰裕 YAMASHITA YASUHIRO 武道学(柔道)	教授 Ⓜ
吉村 哲夫 YOSHIMURA TETSUO 武道学(剣道)	教授 Ⓜ
小山 孟志 KOYAMA TAKESHI トレーニング科学	講師 Ⓜ

恩田 哲也 ONDA TETSUYA スポーツ&レジャーマネジメント論	教授 Ⓜ
中村 なおみ NAKAMURA NAOJI 体育科教育学	教授 Ⓜ
岡田 成弘 OKADA MASAHIRO 野外教育	特任准教授 Ⓜ
木村 季由 KIMURA HIDEYUKI コーチング学	教授 Ⓜ

川邊 保孝 KAWABE YASUTAKA 体育・スポーツ経営学	准教授 Ⓜ
谷木 龍男 YAGI TATSUO スポーツ心理学	特任准教授 Ⓜ

これまでの主な就職先 ※過去の実績

●2020年度 主な就職先・進学先

東海大学大学院・体育学研究科体育学専攻
学校法人了徳寺大学
学校法人東海大学園東海大学付属甲府高等学校
神奈川県立生田高等学校
小田原市立白山中学校
松山東雲中学・高等学校
独立行政法人労働者健康安全機構
岐阜県スポーツ科学センター
総合警備保障株式会社
目黒区役所



●2019年度 主な就職先・進学先

学校法人東海大学
昭和大学
東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部
国立大学法人お茶の水女子大学附属中学校
神奈川警察本部
総合警備保障株式会社
一般財団法人明治安田健康開発財団
医療法人横浜柏提会戸塚共立第2病院
岐阜県スポーツ科学センター
株式会社静岡銀行





博士課程後期在籍

清水 重幸さん

戸塚共立第2病院 リハビリテーション科
湘南ベルマーレ

博士課程後期ではリハビリテーションやパフォーマンス向上に対して、修士課程で学んだことをさらに発展させ、病院やスポーツ現場では経験できない高度な専門知識と研究スキルを学んでいます。各分野の専門の先生の指導を受けながら、選手に対してより実践的・科学的にフィードバックできる事を目標としており、当研究科は、「スポーツ現場」と「科学」の融合を体現できる場所であると感じています。



2017年度修了

一関 侃さん

NEC レッドロケッツ

学部時代は文学部でありながら、学生トレーナーをしていた私は、「専門知識を深めたい」という想いから体育学研究科へ進学しました。在学中は自身の専門領域を深めると共に、他の領域も学び、それら専門とする仲間と意見を交わすことで、多角的な視点を持つことができ、自身の考えをより深めることができました。



2014年度修了

河原 賢二さん

一般財団法人明治安田健康開発財団
健康増進支援センター

体育学は多くの領域にまたがることが本当におもしろく、在学中はたくさんの授業を履修しました。先生方と多くのディスカッションできたことが何よりの財産です。自分の領域にとどまらず、たくさんの分野に顔を出し、体育学の面白さ、奥深さに触れ、自分の引き出しを増やしてください。

奨学金・入学会員・学費**大学院研究奨励奨学金(1種・2種・3種)**

東海大学独自の奨学金制度。学業成績、人物ともに優秀な学生に対して給付します。

種別	給付
(1種)	年額60万円(春学期、秋学期ともに30万円)
(2種)	年額36万円(春学期、秋学期ともに18万円)
(3種)	年額12万円(春学期、秋学期ともに6万円)

日本学生支援機構大学院奨学金

無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、他の奨学金と併用することも可能です。
※収入基準額を超えないこと

第一種奨学金

種別	貸与(無利子)
金額	修士・博士課程前期……月額5万円、8.8万円から選択
期間	博士・博士課程後期……月額8万円、12.2万円から選択

第二種奨学金

種別	貸与(有利子)
金額	大学院全課程全学年……月額5、8、10、13、15万円から選択
期間	本人が希望する月から標準修業年限まで

入学時特別増額貸与奨学金

種別	貸与(有利子)
金額	第1セメスター入学者で条件を満たす者に対して希望により定額(10、20、30、40、50万円から選択)を増額して貸与

**体育学研究科
初年度の学費(2022年度)**

入学金	納付金	年間合計
200,000円	711,000円	911,000円

その他の企画**健康・スポーツ科学セミナー開催**

体育学研究科では、我が国の著名な研究者を招いてセミナーを開催しています。大学院生も進んで参加し、議論に加わっています。



